

神の力また神の知恵

聖書: I コリント 1:2, 23-24, 30. ローマ 6:6, 19, 22. エペソ 1:9, 11. 3:11

- I. パウロは、I コリント第1章24節でキリストを神の力また神の知恵として言及する前に、23節で次のように宣言しています、「わたしたちは十字架につけられたキリストを宣べ伝えます。彼はユダヤ人にはつまずきの石であり、異邦人には愚かであります」:
- A. これが示していることは、神のエコノミーを遂行するために神の力また神の知恵であるキリストが、十字架につけられたキリスト、すなわち、ご自身を救うためには何も行なわなかったキリストであるということです——I コリント 1:24。
 - B. 人の目には、もし人が十字架につけられるなら、彼は無力であると見なされます。なぜなら、力強い人は十字架につけられようとしなからずです。それにもかかわらず、神の力であるキリストは十字架につけられました。
 - C. さらにまた、人の見方によれば、知恵ある人は十字架を避ける方法を見いだします。しかし、神の知恵であるキリストは、十字架につけられました——ガラテヤ 2:20。
 - D. 十字架につけられたキリストは、神の力です——I コリント 1:24:
 - 1. キリストの十字架において、わたしたちは神の力を見ます。
 - 2. サタン、この世、罪、墮落した人、肉、天然の命、旧創造、規定を打ち破るためには、神の力が必要です。
 - 3. キリストの死、すなわち、キリストが十字架につけられることは、神の力となりました——24節。
 - E. 十字架につけられたキリストは、神の知恵です——I コリント 2:7:
 - 1. わたしたちは何を達成するにも、力また知恵としてのキリストを必要とします——1:24。
 - 2. 知恵は、計画し決定するためです。力は、計画し決定したものを遂行し達成するためです。
 - 3. わたしたちが十字架につけられたキリストを経験するとき、彼はわたしたちに対して神の力となるだけでなく、神の知恵ともなります——ローマ 6:6. ガラテヤ 2:20。
 - 4. 十字架につけられたキリストは神の知恵として、神の大いなる喜びにしたがった、また神のみこころを成就する神の方法にもしたがった、神の深くて深遠なご計画と関係があります——エペソ 1:9, 11. 3:11:
 - a. わたしたちは神の知恵としての十字架につけられたキリストを持っているので、神のみこころを遂行する方法を尋ね求める必要はありません。

- b. わたしたちは十字架につけられたキリストを経験することによってのみ、神のみこころを行なう方法を自然に持ちます。
- c. わたしたちは、神のみこころを行なう知恵を持つようになります——コロサイ 1:9, 4:12。
- d. わたしたちが十字架につけられたキリストを経験しさえすれば、キリストはわたしたちに対する神の知恵となって、神のご計画を成就します。すなわち、わたしたちは、神のみこころを行なう神の知恵を持ちます——1:9。

F. わたしたちは十字架につけられたキリストを経験するとき、終結させられます——ガラテヤ 2:20：

- 1. わたしたちであるすべて、わたしたちが持っているすべて、わたしたちが行なうことのできるすべては、みな完全に終結させられます。
- 2. わたしたちが主イエスの御名を呼び求めて、主を経験し享受しているとき、彼の十字架はわたしたちを終結させます。
- 3. 十字架につけられたキリストは、力であるだけでなく、わたしたちが肉、天然の命、旧創造から救い出されるための道でもあります。

II. わたしたちは神によって召された者たちとして、キリストの力と知恵を認識し経験する必要があります—— I コリント 1:24：

A. I コリント第1章2節は、「召された聖徒たち」に言及しています：

- 1. キリストにある信者は、召された聖徒たちであって、聖徒となるよう召されるものではありません。これは地位上の事柄、地位上の聖別であり、性情における聖別を目的としています。
- 2. 主の御名を呼び求めることは、主の中へと信じることを暗示しています——ローマ 10:14。
- 3. 主にあるすべての信者は、呼び求める者であるべきです——使徒 9:14, 21, 22:16。
- 4. わたしたちはすでに召されて、呼び求めています。すなわち、神によって召されて、主の御名を呼び求めています。
- 5. 神によって召されている者には、キリストは神の力、また神の知恵です。

B. 「召されている者」(I コリント 1:24)とは、永遠において神によって選ばれ(エペソ 1:4)、時間においてキリストを信じた(使徒 13:48)信者たちを指しています。

C. キリストを信じて彼の御名を呼び求める者には、彼は神の力、また神の知恵です。

D. 十字架につけられたキリストは、わたしたちを救うための神の力であり、また神のご計画を成就するための神の知恵です：

- 1. 力は能力であり、知恵は道です。

2. キリストは、まずわたしたちの力であり、それからわたしたちの知恵、すなわち、わたしたちの道です。
 3. キリストは、神のエコノミーを遂行するための神の力であり、また神のエコノミーを遂行するための神の知恵、神の道です。
- E. 神の力としてのキリストは、ダイナミックな力でわたしたちを強め、わたしたちであるものとわたしたちが行なう事において、わたしたちを供給し、支えます：
1. わたしたちのすべての環境と状況において、神の力としてのキリストによってわたしたちは、苦難を耐え忍び、重荷を担い、堅く立つことができます。
 2. 彼はまたわたしたちを支えて、揺り動かされないようにします。こういうわけで、パウロは次のように宣言しています、「わたしは、わたしを力づけてくださる方の中で、いっさいの事柄を行なうことができるのです」——ピリピ 4:13。
 3. 神の力としてのキリストは、彼の神聖な分与を通して、日ごとにわたしたちを供給し、支えています。
- F. 神の知恵としてのキリストは、絶えず神からわたしたちへと流れて、わたしたちの経験において、わたしたちの現在の実際的な知恵となります——I コリント 1:24。
- III. 「あなたがたがキリスト・イエスの中にあるのは、神によるのです。このキリスト・イエスは、神からわたしたちに与えられた知恵、すなわち、義と聖別と贖いとなられました」——I コリント 1:30：
- A. この節でパウロは、キリストがわたしたちの知恵となったと言っているのではなく、キリストが「神からわたしたちに与えられた」知恵となったと言っています：
1. 「神からわたしたちに与えられた」というこの表現は、伝達の方法における現在の、实际的で、経験的で、進行中のものを示しています。
 2. キリストが神からわたしたちに与えられた知恵となるのが示していることは、わたしたちの日ごとの経験のために、神からわたしたちに与えられた知恵としてのキリストの伝達があるということです。
 3. わたしたちは、神からわたしたちに与えられた知恵としてのキリストを絶えず必要とします。
- B. キリストは、神からわたしたちに与えられた知恵、すなわち、神の救いにおける三つの極めて重要なものとなりました：
1. キリストはわたしたちの義です(わたしたちの過去のため)。それによって、わたしたちは神によって義とされました。それは、わたしたちが霊の中で再び生まれて、神聖な命を得るためです——ローマ 5:18。

2. キリストはわたしたちの聖別です(わたしたちの現在のため)。それによって、わたしたちは魂において聖別されつつあります。すなわち、わたしたちの思い、感情、意志において、彼の神聖な命をもって造り変えられつつあります——6:19, 22。
3. キリストはわたしたちの贖い(わたしたちの将来のため)、すなわち、わたしたちの体の贖い(8:23)です。それによって、わたしたちの体は、彼の神聖な命をもって変貌^{へんぼう}させられ、彼の栄光の様を持つようになります(ピリピ 3:21)。
4. わたしたちがそのような全体的で完全な救いにあずかることによって、わたしたちの全存在(霊、魂、体)は有機的にキリストと一になり、キリストはわたしたちのすべてとなります。これらすべては神によります。
5. これは完全に神によるのであって、わたしたち自身によるものではありません。それは、わたしたちが自分自身の中でではなく、神の中で誇り、誇らしく思うためです——エペソ 3:20-21。